

Japanisch an Hochschulen e. V. (Hg.): *Japanisch als Fremdsprache* Nr. 8

投稿規定 / Richtlinien für die Veröffentlichung von Beiträgen

1 *Japanisch als Fremdsprache*とは

正式名称は『Japanisch als Fremdsprache. Linguistische und sprachdidaktische Beiträge für den Japanischunterricht an deutschsprachigen Hochschulen』である。ドイツ語圏大学日本語教育研究会（Japanisch an Hochschulen e. V.: JaH）の紀要であり、また、ISSN番号（1868-0631）を持つ学術雑誌である。

2 投稿資格

- 1) 投稿者は原則としてドイツ語圏大学日本語教育研究会（JaH）の会員に限る。
- 2) 会員との共著の場合のみ、非会員の投稿を認める。
- 3) 役員会と編集委員会の判断により、シンポジウムの招聘講師にその講演内容の掲載を依頼することがある。

3 使用言語

ドイツ語または日本語。題・氏名・機関名・要約は両言語で行う。

4 カテゴリー

- 1) 特集として、シンポジウムのテーマに関連する研究論文・実践報告
第8号の対象は以下の3回のシンポジウムである。
 - 日本語オンライン授業の現状と将来（2021年、ボーフム／オンライン開催）
 - 学習者の多様性に対応した高等教育における日本語教育（2022年、ケルン／ハイブリッド開催）
 - 日本語教育における語彙学習と指導について（2023年、トリア／オンライン開催）ただし、2021年と2022年のシンポジウムは変則的なプログラムで行われたため、紀要への収録も従来とは異なった形になる可能性がある。
- 2) 研究論文
- 3) 実践報告

5 注意

- 1) 投稿内容は未発表のものに限る。
- 2) 先行研究や図表やインターネット情報の引用に関しては、執筆者の責任により引用・再掲するものとし、編集委員会はその責任を負わない。
- 3) 審査の上掲載された論文であっても、それが表明する見解については、執筆者が責任を負い、ドイツ語圏大学日本語教育研究会および編集委員会は責任を負わない。

6 第8号の投稿要領

編集委員会の責任において、特にドイツ語圏の大学における日本語教育への貢献度、会員への情報の有用性などの観点から審査の上、編集する。第8号は2024年に刊行予定。投稿の流れは次の通りとする。

- 1) 査読用要旨の提出：2023年3月31日（金）まで。
Word文書で、日本語（800字以内）またはドイツ語（300語以内）。

採否は5月末までに通知予定。

- 2) 採択後、論文原稿の提出：2023年9月30日（土）まで。
分量の目安：A4横書き、上下左右余白2.5cm、12ポイントの文字で20ページまで。
執筆要領は準備が出来次第、JaHのHPに公開される。

要旨・原稿の提出および、編集委員会と投稿者間の連絡はEメールによって行う。

- ◆ 提出先・連絡先： 加藤由実子（ミュンヘン大学）

E-Mail : y.kato@lrz.uni-muenchen.de

(2023年3月5日改訂)